

防火標語

急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)
〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
TEL (026) 232-5319
編集発行人
福澤賢治

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyukai.com/>

第4回理事会開催
令和7年度事業計画及び
予算承認される

令和6年度第4回理事
会を7年3月11日(火)長
野市内で開催しました。

会議には正副会長をは
じめ理事、監事、県消防
課及び県消防学校が出
席。冒頭で、来賓の県危
機管理部前次直隆危機管
理監兼部長からあいさつ
をいただきました。
理事会で承認された議
案は次のとおりです。
①令和7年度事業計画
(次項)
②令和7年度収入支出予
算(別表)



第4回 理事会

③長野県消防ポンプ操法
大会操法実施要領・操
法大会審査要領の一部
改正
④第34回県消防ラッパ吹
奏大会ブロック推薦審
査員の承認
東信 柴田隆一氏(上田市)
南信 興津忠弘氏(高森町)
中信 山田 勝氏(木曾町)
北信 瀬在正生氏(千曲市)
⑤資金調達及び設備投資
の見込みを記載した書
類(該当なし)
また、来年度の県消防
ポンプ操法大会・県消防
ラッパ吹奏大会実施要綱
と県ラッパ吹奏大会実施
要領について承認されま
した。細部の修正が生じ
た場合、次回5月の理事
会で報告することとされ
ました。
この日来年7月13日
に行う県消防ポンプ
操法大会、ラッパ吹奏大会
の出場順番くじを行いま
した。決定した出場順は
次のとおりです。①須高
②飯伊、③木曾、④松本、
⑤北佐久、⑥南佐久、⑦諏訪
⑧上伊那、⑨北信、⑩上小
⑪長野、⑫埴科、⑬大北

◆ 令和7年度 収入支出予算書

(単位:千円)

収 入				
科 目	7年度(A)	6年度(B)	比較(A-B)	説 明
基 本 財 産 財 産 運 用 収 入	6,906	6,906	0	基本財産運用収入
事 業 収 入	5,450	5,597	△ 147	福祉共済事業加入事務費交付金
長 野 県 入 庫 助 金 収 入	5,450	5,450	0	県消防操法大会等開催補助金
日 本 消 防 協 会 補 助 金 収 入	4,803	4,815	△ 12	
雑 収 入	2,896	2,592	304	
財 政 調 整 積 立 金 取 崩 収 入	2,000	0	2,000	
当期収入合計(A)	27,505	25,360	2,145	
前期繰越収支差額	1,515	4,522	△ 3,007	
収 入 合 計(B)	29,020	29,882	△ 862	

支 出				
科 目	7年度(A)	6年度(B)	比較(A-B)	説 明
広 報 事 業 費	390	520	△ 130	信州消防年3回発行等
予 防 宣 伝 対 策 費	475	483	△ 8	県女性消防団員活性化会議啓発物品発送等
教 養 訓 練 事 業 費	9,010	9,720	△ 710	県消防操法大会、団長研修大会等
表 彰 事 業 費	2,339	2,317	22	定例表彰等
弔 慰 救 済 事 業 費	1,683	1,849	△ 166	慰霊祭、弔慰見舞金等
管 理 費	12,329	12,685	△ 356	人件費、会議費
特 別 積 立 金 支 出	242	218	24	
当期支出合計(C)	26,468	27,792	△ 1,324	
当期収支差額(A-C)	1,037	△ 2,432	3,469	
次期繰越収支差額(B-C)	2,552	2,090	462	

感謝状贈呈式を実施

理事会終了後、昨年5
月まで正副会長を務めら
れた次の方々に、規定に
より会長から感謝状が贈
呈されました。

○感謝状受領者
上條博文氏(参与、前会長、
前松本市消防団長)
松木道夫氏(評議員、前副
会長、前長野市消防団長)
日下部良也氏(前副会長、
前伊那市消防団長)
笹川政義氏(前副会長、
前木祖村消防団長)



感謝状贈呈式

各種研修行われる

○第51回消防団幹部特別
研修(日本消防協会)
1月14日(火)から17日
(金)まで東京都内で開催
され、本県からは、駒ヶ
根市消防団北澤隆副団長
が参加しました。
○第24回消防団幹部候補中
央特別研修(日本消防協会)
男性消防団員の部が1
月29日(水)から31日(金)、
女性消防団員の部が2月
19日(水)から21日(金)まで
行われました。本県からの
参加者は次のとおりです。
・男性消防団員の部
佐久穂町消防団
小林祐太団員
白馬村消防団
羽鳥有貴団員
信濃町消防団
市川雅洋団員
・女性消防団員の部
長和町消防団
竜野委子分団長

○消防団員指揮幹部科
千曲市消防団
磯野あゆみ団員
松本市消防団
分団真由美班長

分団指揮課程が3月7
日(金)・8日(土)、現場
指揮課程が3月14日(金)・
15日(土)と21日(金)・22
日(土)の2回開催され、分
団長、副分団長等現場で指
導的な役割を担っている
消防団員
110名
が参加し
ました。
協会長
講話とし
て、福澤
会長、坂
巻副会長
出澤副会
長が指導
経験を踏
まえた講
義を行い
ました。



出澤副会長 坂巻副会長 福澤会長

◆ 令和7年度【事業計画書】

事業名	実施項目	内容
I 会議	1 長野県消防協会関係 (1) 定時評議員会 (2) 理事会 (3) 正副会長会議 (4) 専門委員会 (5) 表彰審査委員会 (6) 参与会 (7) 監査会	5月29日(木) 5月14日(水) 12月9日(火) 3月11日(水) 必要の都度 12月9日(火) (必要の都度) 9月3日(水) 10月下旬 5月9日(金)
	2 日本消防協会関係 (1) 理事会・評議員会 (2) 関東甲信地区消防協会会議 (3) 関東甲信地区消防協会事務局長会議 (4) 都道府県消防協会事務局長会議	6月20日(金) 3月6日(金) 東京都 6月4日(水)～5日(木) 東京都 12月4日(木)～5日(金) 千葉県 2月27日(金) 東京都
II 防災思想啓発	1 広報事業 (1) 機関紙発行 (2) ホームページ (3) SNS(フェイスブック)	機関紙「信州消防」年3回発行、各市町村、消防団員、消防関係者へ配布 県協会事業の周知・実施報告、市町村等作成の消防団PR動画の掲載及び 信州消防団応援ショップ事業の周知等
	2 防火意識の高揚 (1) 定期火災予防運動 (2) 特別火災予防運動 (3) 各種防火イベントへの参加	秋(11月) 春(3月) 随時 随時、全日本消防人共済会の小・中学生防火ポスター、作文募集事業(7～8月)
	3 防災運動 (1) 安全運動 (2) 防災運動	随時 国民安全の日(7月1日) 防災の日(9月1日) 救急の日(9月9日) 119番の日(11月9日) 消防記念日(3月7日)
	4 消防活動への協力依頼	消防団員の勤務事業所等への協力依頼文の作成・配布(2～3月)
	5 女性消防団員の活性化推進	長野県女性消防団員活性化会議の開催(必要な都度)
III 消防施設整備改善	1 消防用施設・機械器具の整備	必要に応じ国県等に対し請願・陳情等
	2 消防用車両等の交付申請	日本消防協会が行う消防用車両等の交付先消防団の推薦等
IV 消防技術研修教育	1 第67回長野県消防ポンプ操法大会	長野県消防学校 7月13日(日)
	2 第34回長野県消防ラッパ吹奏大会	長野県消防学校 4月19日(土)
	3 ラッパ吹奏講習会	松本市 キッセイ文化ホール 10月8日(水)
	4 第15回長野県消防団長・事務主任研修大会	長野県消防学校 12月11日(木)～12日(金) 40名程度
	5 消防団員指導員研修	長野県消防学校 6月7日(土)
	6 副団長講習会	日本消防協会事業へ参加 1月13日(火)～16日(金) 南信ブロックから1名
	7 第52回消防団幹部特別研修	日本消防協会事業へ参加 東・南・北信各ブロックから男女各1名 男性1月28日(水)～30日(金) 女性2月18日(水)～20日(金)
	8 第25回消防団幹部候補中央特別研修	神奈川県横浜市 10月28日(火) 安曇野市女性消防隊出場
	9 第26回全国女性操法大会	長崎県長崎市 11月13日(木)
	10 第30回全国女性消防団員活性化長崎大会	必要に応じ実施
V 消防制度等研究改善	国・県・日消に対し請願・陳情	必要に応じ実施
VI 消防関係者の表彰	1 表彰 (1) 長野県消防協会長表彰 (2) 日本消防協会長表彰 (3) 長野県民の消防員表彰	消防関係者等の表彰 各市町村出初式 消防関係者等の表彰 東京都 ニッショーホール 3月6日(金) 消防団の表彰 3月 長野市 NBSホール
	1 弔慰救済 (1) 長野県消防関係殉職者慰霊祭 (2) 弔慰金・見舞金の支給 (3) 罹災者に対する見舞金の支給	長野市花岡平 県消防協会当番 9月3日(水) その都度 その都度
	2 殉職消防関係者遺児の激励 3 信州消防団員応援ショップ事業への協力 4 日本消防協会等福祉共済事業 (1) 第44回全国消防殉職者慰霊祭 (2) 消防団員等福祉共済 (3) 消防個人年金 (4) 婦人消防隊員等福祉共済 (5) 消防育英会	図書カードを贈呈し激励(12月) 長野県事業の広報 御遺族代表者等出席 東京都 ニッショーホール 9月11日(木) 加入促進(随時)、消防団員等公務災害補償等実務研修会(11月) 同上 同上 日本消防協会事業の支援
VII 共済・福利厚生・弔慰救済	1 弔慰救済 (1) 長野県消防関係殉職者慰霊祭 (2) 弔慰金・見舞金の支給 (3) 罹災者に対する見舞金の支給	長野市花岡平 県消防協会当番 9月3日(水) その都度 その都度
	2 殉職消防関係者遺児の激励 3 信州消防団員応援ショップ事業への協力 4 日本消防協会等福祉共済事業 (1) 第44回全国消防殉職者慰霊祭 (2) 消防団員等福祉共済 (3) 消防個人年金 (4) 婦人消防隊員等福祉共済 (5) 消防育英会	図書カードを贈呈し激励(12月) 長野県事業の広報 御遺族代表者等出席 東京都 ニッショーホール 9月11日(木) 加入促進(随時)、消防団員等公務災害補償等実務研修会(11月) 同上 同上 日本消防協会事業の支援
VIII 基本財産等の運用	1 基本財産の有効運用	理事会、総務専門委員会での協議
	2 運用財産の有効運用	同上
IX その他	1 関係団体との連絡調整	市長会、町村会、消防長会等
	2 地区協会との連携	

第3回女性消防団員 活性化会議開催

3月23日(日)松本市内で第3回女性消防団員活性化会議を開催しました。今年度最後の会議には、会議のメンバー10名と福澤会長、坂巻副会長、県消防課担当者出席。各市町村消防団の活動状況や、女性消防団員のあり方などを意見交換し、有意義な会議となりました。



第3回女性消防団員活性化会議

第77回日本消防協会 定例表彰

第77回日本消防協会定例表彰は、3月7日(金)、東京都内で行われ、全国で143団(隊)、12,633名、本県では、5団209名が受賞しました。

- ・特別表彰 まとい
- 川上村消防団
- 優良消防団(表彰旗)
- 小川村消防団

・優良消防団(竿頭綬)

- 飯島町消防団
- 池田町消防団
- 白馬村消防団
- 功績章 29名うち女性1名
- 精進章 70名うち女性3名
- 勤続章 107名



日本消防協会表彰式

▲向かって右から4番目、川上村消防団

総務省消防庁による 表彰式

消防庁による表彰式が、3月5日(水)と19日(水)、東京都内で行われました。消防団の受賞は次のとおりです。

- ◆防災功労者消防庁長官表彰 豊丘村消防団
- ◆消防団等地域活動表彰 安曇野市消防団 川上村消防団 辰野町消防団
- ◆消防功労者消防庁長官表彰 表彰旗 飯綱町消防団 竿頭綬 須坂市消防本部 高山村消防団(連名) 北アルプス広域消防本部 池田町消防団(連名)
- ◆消防団地域貢献表彰 上田市消防団・上田市(連名)



防災功労者消防庁長官表彰式、消防団等地域活動表彰式



消防庁長官表彰式

▶向かって左から、永功賞村松淳一長野市消防局消防監 永功賞平尾真南木曾町消防団長 永功賞小菅和重中野市消防団長 表彰旗小林一成飯綱町消防団長、竿頭綬萩達善明池田町消防団長、竿頭綬樋口美須坂市消防本部消防司令長

▶3列目向かって左4人目から順に、由井宏川上村消防団長、高橋稔安曇野市消防団長、竹入英城辰野町消防団長

第27回長野県民の 消防員表彰

NBS長野放送主催による第27回長野県民の消防員表彰の受賞者が次のとおり決定し、表彰式が3月1日(土)、長野市の長野放送本社で行われました。

- ・団体の部 飯田市消防団 (坂巻剛弘団長)
- ・個人の部 小林秀二長野市消防局消防司令



受賞された飯田市消防団幹部の皆さん



消防団地域貢献表彰式

▲後列向かって右から2人目、福澤賢治上田市消防団長(県消防協会長)

人事異動

令和7年4月1日付

○危機管理部

【転入】

・危機管理部長

渡邊卓志(木曾地域振興局長)

【転出】(昇格を含む)

・危機管理監

前沢直隆

(危機管理監兼危機管理部長)

・企画振興部次長

大日方隆 (危機管理部次長)

・危機管理部次長

小野政仁 (消防課長)

○危機管理部消防課

【転入】

・消防課長

平林正枝 (市町村課長)

・消防係長(幹事)

水澤まゆみ

(市町村課財政係担当係長)

・主任(幹事)

荻原大輔(上伊那広域消防本部 伊那消防署主査)

・主事(幹事)

菅井万緒 (採用行政)

【転出】

・施設課課長補佐兼営繕事務係長

山口昭子

(課長補佐兼消防係長・幹事)

・教育政策課企画係主任

北原仁美 (主任・幹事)

・諏訪広域消防本部警防課

小山和也

(主任・幹事)

「安心・安全の松川村」の 実現に向けて、団員一丸となって



松川村消防団
団長 奥原康隆

松川村の紹介

松川村は安曇野地域の北西部に位置し、面積は47・07㎢、人口は約9,600人です。

「北の安曇野」と称され、安曇野の原風景が色濃く残るこの村では、四季折々の美しい景観を楽しむことができます。

西側には「信濃富士」とも呼ばれる有明山がそびえ、その麓には、教科書にも掲載された美しい神戸原扇状地が広がります。村内には高瀬川や乳川などの一級河川が流れ、豊かな水資源にも恵まれています。



訓練成果発表会

特に、北アルプスの雪解け水と肥沃な大地に育まれた米は村の誇りであり、県内有数の酒米の産地としても知られています。2024年には、老舗酒蔵の事業を継承した「薨酒蔵」が竣工し、村産の酒米と清らかな水を使った新たな日本酒が誕生しました。



訓練成果発表会

こうした豊かな自然と利便性のバランスの良さに加え、充実した子育て支援制度が評価され、『田舎暮らしの本』（宝島社）の「2025年版 住みたい田舎ベストランキング」において、（人口5,000人以上1万人未満のまちランキング）で総合1位に選ばれました。令和6年度中の転入者は約450人で、移住希望者からの注目も集めています。

松川村消防団の紹介

松川村消防団は、大正4年に発足した私設組織「板取消防組」を前身とし、長年にわたり村の防災を担ってきました。結成当初は、村唯一の消防機関として村内全域を対象に55名で活動していました。昭和17年には定数328名の組織へと成長。昭和20年の乳川氾濫や昭和44年の高瀬川堤防決壊などの災害対応にも尽力してきました。

その後も体制の変遷を経て、平成16年には9分団制から5分団制に再編。現在は本部と5つの分団に加え、広報部・企画部を含む組織となり、定数200名の団員が活動しています。



地域イベントでの広報活動

松川村消防団の活動

災害現場や行方不明者の捜索活動に加え、災害時に必要な知識や技術を習得するための研修や訓練を年間を通じて実施しています。また、団員の負担軽減を図るため、訓練や式典、操法大会の内容や時間の見直しも進めています。

さらに、地域に根ざした活動にも力を入れており、地区の祭りや三九郎の警戒・警備、村主催のふるさと祭りでの警戒や広報イベントなどにも積極的に取り組んでいます。



保育園児防災教室(紙芝居の読み聞かせ)

平成23年には、松川村消防団に初めて女性消防団員が入団。当初3名でしたが、現在は17名が所属し、各分団の活動に参加するほか、出初式などの運営補助、防災教室での紙芝居の読み聞かせ、火災予防週間の啓発活動など、幅広い分野で活躍しています。また、救護部・広報部の活動に加え、喇叭部や操法選手としても力を発揮しており、それぞれの希望に応じて柔軟に活動できる環境が整っています。

最後に

近年、災害の多様化・頻発化が進む中、地域住民の安全を守るために、消防団の役割はこれまで以上に重要になっています。しかし、消防団の活動内容やその意義が十分に認知されておらず、団員の確保が大きな課題となっています。

そこで、消防団の役割への理解を深めるとともに、地域全体の防災意識を高めることが欠かせないと考え、子どもから大人まで幅広い世代に消防団の活動内容や災害時の対応方法を楽しく学んでもらえるよう、エンターテインメント型の広報活動として「消防団員をモチーフにした戦隊ヒーロー劇」の制作を計画しています。また、近隣市町村と連携し、地域全体で一体となった広報活動を展開する予定です。これからも私たちは、伝統ある松川村消防団の自覚と誇りを胸に、「安心・安全の松川村」の実現に向け、団員一丸となって「地域防災力の充実・強化」を目指し、邁進してまいります。



重量物移動訓練